



今月号のトピックス

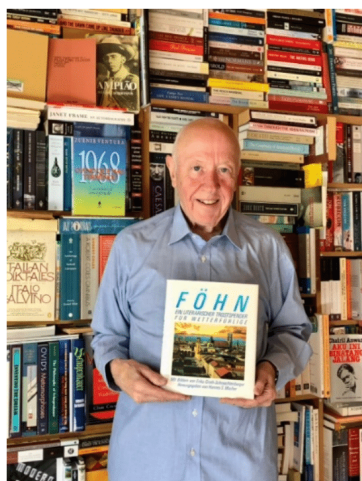
- ▶ドイツ語講座開催のお知らせ▶第2回多文化サロン開催のお知らせ▶第1回レポート多文化サロン
- ▶協会からのお知らせ



ドイツ語講座 開催のお知らせ

Guten morgen!
Deutsch für Anfänger

ベーシックから学ぶドイツ語



ドイツ語を通じて
ドイツの文化を学びましょう

6月4日～
7月23日(土)

9:30 am ~ 11:00 am

全8回：6月4,11,18,25日
7月2,9,16,23日

6月4日から7月23日
までの毎週土曜日、午前9
時半から11時まで、

『Guten morgen!

Deutsch für Anfänger
-ベーシックから学ぶドイ
ツ語』を開催します。

講師には、県内大学で講
師としてお勤めのアラン・
ファーさんをお招きし、ド
イツ留学時代の経験を基に
に、ドイツ語やドイツ文化
について教えていただきます。

会場は、花巻市交流会館
です。テキストは昨年度と
同様の書籍を使用します。
申し込みは、5月18日
(水)より受付開始です。新
規の方はもちろん、昨年度
受講者の方々のお申し込み
もお待ちしております。

講師 アラン ファーさん (イギリス出身)

会場 花巻市交流会館(空港旧ターミナルビル)
〒025-0004 花巻市葛 3-183-1

テキスト代 1,650円 (税込)

書籍名：30日で話せるドイツ語会話
出版社：株式会社ナツメ社

定員 15名 (先着順)

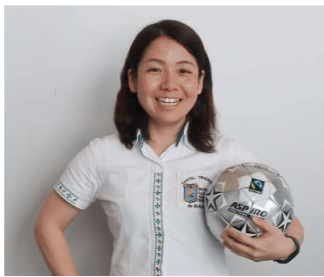
その他 マスク着用および検温にご協力をお願いいたします

5/18
受付開始

申し込み・問い合わせ

公益財団法人花巻国際交流協会 電話番号：(0198) 26-5833





講師 菊池 真美子(国際協力機構 JICA 岩手デスク)

2013年~2015年まで青年海外協力隊

理学療法士隊員としてボリビアに派遣される。

日時 **6** 月 **19** 日 (日) **10** 時~**11** 時 30 分

※コロナウイルス感染拡大の際は延期または会場を変更する場合があります。

会場 花巻市文化会館 中ホール
(花巻市若葉町3丁目16-22)
対象 花巻に在住または勤務されている方
参加費 一般 500円
賛助会員 100円
定員 25名(※定員になり次第締め切り)
申込方法 電話または窓口にてお申込み

公益財団法人 花巻国際交流協会 電話：0198-26-5833

多文化サロンのお知らせ

多文化サロン第2弾は、「ボリビア」です!! 私(多田)が行ってみたいと思っている国の1つです。ボリビアには世界に数ある有名な絶景スポットのひとつである「ウユニ塩湖」があります。天空の鏡とも言われるウユニは生きているうちに1度は訪れたい場所とも呼ばれています。

青年海外協力隊員としての活動・日本人移民のお話・ボリビアの食べ物や観光など講師にしか話せない内容となっております。



わたし これが私のパキスタン. یہ میرا پاکستان ہے.



4月24日(日)10時30分から正午まで大迫町の川原町自治公民館にて、今年度第1回多文化サロン「これが私のパキスタン」を開催しました。講師はシャズィアさん、アシスタントとしてシャズィアさんのお子さんのモイーズさん。当協会理事の吉水香教さんに通訳していただきました。

内容は言語・宗教・歴史・気候・服装・食べ物など紙面では伝えられないパキスタンの魅力をお話していただきました。

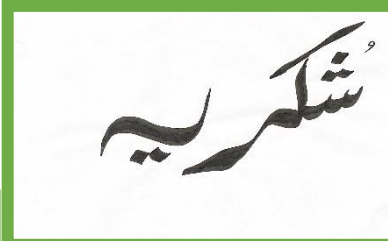
現在ラマダン中のシャズィアさんですが、日本はパキスタンに比べて温暖なので喉の渇きも少なく日本でのラマダンに苦勞はないと笑顔で答えたのが印象的でした。

パキスタンの結婚式は3日間通して行われるそうで、1日目・2日目・3日目とその衣装が違うそうです。講座にはできませんでしたが、平均的な費用は約100万~120万円で両方の親が出し合うそうです。



アッサラームアレイクム
(こんにちは)

ワアライコムッサラーム
(こんにちはへの返答)



シュクリア
(ありがとう)

自分の名前
に受講生は
みな
興味深々。



右から左に読みます。受講生は頭をかかえました。

パキスタンの気候は春(3月)、夏(4月~9月下旬)、雨季(9月下旬~10月上旬)、秋(10月下旬~11月)、冬(12月~1月)、また秋(2月)なそうでパキスタンを訪れるなら春が一番だそうです。

質問はいつも以上に活発で「主食はなんですか？」に対して「アツアツのチャパティを毎食食べ



受講生へのおみやげ

ます。その都度お母さんがこねて焼きます。電子レンジはありません。」とシャズィアさんが答えると、会場からどよめきが、、、パキスタンのお袋の味は「チャパティ」でした。

シャズィアさんの趣味はお料理なので、お土産として彼女お手製のサモサとスパイシー天ぷらが配られました。皆さんお味はいかがでしたか。シャズィアさんのお料理が食べてみたいという方は花巻市東和町の「ワンデイシェフの大食堂」へ。月1~2回「アフタブ」という名前で出店していますので足を運んでみてください。(次は5月10日の予定)

●まだまだ賛助会員募集中

当協会の目的や活動に賛同いただける賛助会員を募集しております。協会情報誌のお届けのほか、当協会主催の各種講座に割引料金で参加いただけます。詳しい情報をお知りになりたい方は、当協会までお問い合わせ下さい。

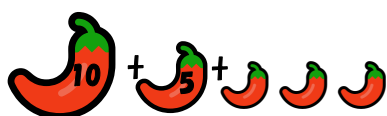
年会費 個人 : 2,000円
団体 : 10,000円

賛助会員数 (4月末現在)

個人 24 名、団体 3 団体

ご賛同ありがとうございます

Chika のインドネシア体験記



おつりが飴だったの巻

インドネシアで有名な飴といえば「KOPIKO」。インドネシア語でKOPIはコーヒーという意味。コピコには2種類の味があって、ノーマルとカプチーノ味。コピコは私のインドネシア時代を思い出させる味です。職場の同僚やおばちゃん達のカバンにはコピコが入っていて、よく買って食べました。近所の小さいお店では5個10円でした。カプチーノ味は都会にしか売っていないのでめったに食べられない一品でした。

ある日街の大きなスーパーでおつりとしてお札とコピコを買いました。ん?と思い聞くとつり銭が切れているからと。私がいた当時のコインは500ルピア(5円)・200ルピア(2円)・100ルピア(1円)があって、ほぼ価値のない扱いでした。コインで買えるものはなく、何枚かのコインを使おうとしても断られることもありコインは邪魔者扱い。近所のお店で「コピコで買い物できる?」と聞いてみました。笑いながら返ってきた答えは「ダメ」でした。※現在、飴はおつりの代用としては使われていないそうです。

Chika プロフィール

現在(公財)花巻国際交流協会スタッフとして勤務
2010年~2012年までの2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ポアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
首都ジャカルタよりポアレモ県まで直線距離で約2,300km。ジャカルタから飛行機で(約3時間)→ミニバスに乗り換え(約3時間)→ポアレモ県に到着



100均のキャンドウで現在販売中。お試しあれ★
飴が正規のサイズではないこともある。

問合せ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855
E-mail: kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>
開館時間: 8:30~17:15 (土日祝祭日、年末年始は休業)

